2019年度　加東市立三草小学校　学校経営方針【グランドデザイン】

◎改訂学習指導要領・県教委基本方針

①生きて働く「知識・技能」の習得
②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成
③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性」の涵養

◎加東市教育大綱・教育振興基本計画・加東の教育

①小中一貫教育をとおして自立した子どもを育む
②「生きる力」としての「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む
③子どもたちの学びを支える仕組みを確立する

◎めざす学校像：笑顔あふれる学校

〇子どもたちが、ともに伸びる学校
〇職員が生き生きと活動できる学校
〇地域とつながりあう学校

◎めざす教職員像：子どもの成長を保障する教職員集団

〇個々の児童の実態に基づく教育観をもつ教職員
〇児童と教材の接点から指導案を生み出す教職員
〇個々の成長と組織力を高める教職員

【学校教育目標】

**ともに学び　心豊かに
たくましい
三草っ子の育成**

◎学校経営の重点

●児童の**「将来の自立」**にむけた取組の推進（中長期的視点）
・楽しい（よくわかり、考える）授業づくり
・思いやりや優しい心の醸成と健康な体づくり
・児童の自発的・主体的な活動の推進
●義務教育9年間を見通した学習・生活指導の一貫化
●地域に根ざし開かれた特色ある学校づくり
●業務改善のさらなる推進による勤務時間の適正化

めざす子ども像

**【自分の考えをもつ子】【他者と学び合う子】【自分で考えて行動する子】　【自分を見つめる子】
～子ども同士の関わり合いを通して～**

【学習面】

**〇自分の考えをもち、表現できる子
〇自ら進んで課題に取り組める子
〇他者の考えを受け入れ、学び合える子
〇自分の学びに気付ける子**

【生活面】

**〇自他の良さを知り、自身をよりよくできる子
〇決めたことを最後までやり抜ける子
〇自分の生活を客観的に見つめられる子
〇集団生活のきまりを守り自律的に生活できる子**

【特活面】

**〇学校生活をよりよくしようと考えられる子
〇学校生活をよりよくするために進んで行動できる子
〇集団の中で、他者や自己を受容できる子
〇仲間と共に体を動かすことを楽しむ子**

方策と具体的な取組

楽しい（よくわかり、考える）授業づくり

①子どもの「問い」が生まれる課題提示の工夫
②他者と学び合える話し合いの組織化
③学びを活用する場の設定
④学びを振り返る時間の確保

〇基礎学力の定着
（個に応じた指導、少人数授業、複数指導、スキル学習）
〇授業内容の工夫改善
（学ぶ意欲を高める授業、義務教育9年間を見通した指導、言語活動、音読、ノート指導）
〇学習習慣の定着
（家庭学習の手引きの活用、読書の推進）

思いやりや優しい心の醸成と健康な体づくり

①自尊感情と他者理解を高める場の充実
②自己選択・自己決定の機会の保障
③「三草っ子くらしの約束」の児童主体の見直しと生活目標の設定
④自分の生活を見直す振り返り活動の充実

〇生徒指導の充実
（生徒指導委員会、各種アンケート調査、教育相談、ケース会議）
〇いじめ・不登校の未然防止
（児童観察、生命尊重を基盤とした道徳・人権教育）
〇体力向上と健康・安全への意識醸成
（新体力テスト考察、健康教育、食育指導）

自発的・主体的な活動の推進

①学校生活の問題を自ら解決するための代表委員会活動
②楽しく豊かな学校生活を送るための委員会活動
③支え合う仲間を育てるための学級活動
④自治的な集団を育てるため異年齢活動

〇主体性の発揮と達成感・成就感の体感
（委員会活動や行事等での目標設定と振り返り）
〇豊かな人間関係づくり
（なかよし遊びやなかよし給食、クラブ活動の工夫改善）
〇児童主体の学校安全対策
（防災教育副読本・危機管理マニュアルの活用、実践的な体験学習）

保護者や地域等との連携

〇学校行事：学習参観、学校オープン、ふれあい茶摘み、読み聞かせ、ゲストティーチャー(生活・総合・社会・クラブ等)　〇学校経営：PTA総会、PTA評議員会、学校評議員会、学校評価（保護者、児童、教職員）
〇PTA：各種事業（教育講演会、親子活動、引き渡し訓練、茶園整備、愛校作業、リサイクル活動、広報誌発行、補導活動等）　〇保護者の理解協力：基本的生活習慣の定着、家庭学習の習慣化（学級懇談会、家庭訪問、個別の教育相
〇地域の支援：見守り隊、いきいき学校応援事業　〇園・中連携：交流活動（交通安全教室・運動会・茶摘み・出前授業）、共同研修・研究、部活動体験、トライやる・ウィーク